

記 録

次のとおり学内研究発表会及び公開講座を開催した。

1 学内研究発表会

2019年度神奈川県立保健福祉大学 研究発表会

(1)日 時 2019年7月3日(水)

(2)会 場 神奈川県立保健福祉大学 横須賀キャンパス 大会議室

(3)演 題 12演題

<p>タイ国在留日本人の身体的・精神的健康に関連する要因は何か？</p> <p>○田中繁治¹⁾ ¹⁾ リハビリテーション学科理学療法学専攻</p>
<p>知的障がい者が地域で安定した暮らしを維持するための研究 - 地域で生活している成人期以降の知的障がい者の健康状態把握への試み -</p> <p>○金 壽子¹⁾、岸川 学²⁾ ¹⁾ 看護学科 ²⁾ 社会福祉学科</p>
<p>医療情報連携ネットワークの利活用に関する現状と課題の検討</p> <p>○渡邊 亮¹⁾、小林大介²⁾、佐藤大介³⁾ ¹⁾ ヘルスイノベーション研究科 ²⁾ 神戸大学 ³⁾ 国立保健医療科学院</p>
<p>大環状化合物と蛍光性リガンドを併用する水中での高選択的な化学物質の新規簡易検出法に関する研究</p> <p>○佐竹弘行¹⁾ ¹⁾ 人間総合科</p>
<p>培養細胞を利用した食品成分の機能性の検討</p> <p>○向井友花¹⁾ ¹⁾ 栄養学科</p>
<p>児童・中学生における高齢者疑似体験がもたらす効果</p> <p>○黒河内仙奈¹⁾、間瀬由記¹⁾ ¹⁾ 看護学科 高齢者看護学領域</p>
<p>東ティモールにおける学校保健教育の現状と課題</p> <p>○城川美佳¹⁾ ¹⁾ 人間総合科</p>
<p>血液透析を新規に導入した患者における踵の乾燥と入浴/シャワー浴の頻度</p> <p>○大場美穂¹⁾、清水真紀²⁾、土井英子¹⁾、小林珠実¹⁾、野村美香¹⁾ ¹⁾ 看護学科 ²⁾ 横須賀共済病院</p>
<p>社会福祉専門職の専門性に関する意識 - 社会福祉系大学卒業生の調査結果から -</p> <p>○西村 淳¹⁾、新保幸男¹⁾、中村美安子¹⁾、吉中季子¹⁾、種田綾乃¹⁾ ¹⁾ 社会福祉学科</p>

地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査（第1報）

○黒澤千尋¹⁾、玉垣 努²⁾、米津 亮¹⁾、白濱勲²⁾、高木峰子¹⁾、小池友佳子¹⁾¹⁾ リハビリテーション学科理学療法学専攻²⁾ リハビリテーション学科作業療法学専攻

特別養護老人ホームにおける「チーム変革型尿失禁高齢者ケアプログラム」導入による高齢者の尿失禁症状とQOLの変化

○渡邊千登世¹⁾¹⁾ 看護学科

周辺化された文化の保護と伝承 – プミ族の試みが示唆する“第三の道”の可能性 –

○金 龍哲¹⁾¹⁾ 人間総合科

2019年4月に開設されたヘルスイノベーション研究科のある川崎（殿町）キャンパスと、実践教育センター（横浜（二俣川）キャンパス）、横須賀キャンパスを遠隔視聴システムでつないで実施した。

2 公開講座

ヒューマンサービス公開講座

(1)日時・テーマ・担当講師・会場：

春季 日時 2019年5月11日(土)

メインテーマ 「つながるために」

講演 ○「ヒューマンサービス ―つながりを求めて―」

中村丁次 学長

○「つながりを求めるひとびと ―女性と子どもの貧困の実態から―」

吉中季子 准教授 (社会福祉学科)

○「人生に幸せをもたらす人とのつながり

―知的障がいのある方々とのつながりを通して―」

金 壽子 准教授 (看護学科)

会場 かながわ県民センター 2階ホール (横浜市神奈川区鶴屋町)

秋季 日時 2019年10月5日(土)

メインテーマ 「人生100歳時代」

講演 ○「未病とヒューマンサービス」

鄭 雄一 ヘルスイノベーション研究科長

○「3, 4, 5歳の子どものできた！が増える体・指先の指導アラカルト」

笹田 哲 リハビリテーション学科長

○「人生100歳時代に向けて食選力アップ！～食品表示をよく見て賢く選択を～」

向井友花 准教授 (栄養学科)

○「人生100歳時代をどう生きる？」

松尾祐子 准教授 (人間総合科)

会場 神奈川県立保健福祉大学 横須賀キャンパス 講堂

(2)参加費：無料

(3)後援：神奈川県立保健福祉大学を支援する会

(4)広報：神奈川県ホームページ (イベント・募集) サイト PLANETかながわ 三浦半島だより
本学ウェブサイト 等